

届け 世界の果てまでも

令和4年1月11日

No. 54

文責 校長 飯久保一男

通信タイトル“寅年新年初号バージョン”…ちょっと派手です。



新しい年もよろしくお願ひいたします

小笠原小学校の子どもたちと、
子どもたちに関わる全ての方々にとって、
すばらしい年となりますようお祈り申し上げます。



3学期始業式での校長の話の概要です。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

…感染症が増えつつあること、学校でも2学期同様に対策をしていくこと、各自でも対策をすることを話しました。

3学期が始まりました。3学期は、学年によって少し違いますが、学校に来る日は、50日ほどです。短い学期になりますので、これまで以上に、1日を大切に、全校の皆さんの、いろいろなカッコイイ姿が見られる3学期にしてほしいと思います。

どの学年の人にもがんばってほしい3学期ですが、6年生と4・5年生にとっては、特に大切な学期になると思います。6年生は卒業に向けて小学校でのすべての生活のしめくくりの学期です。卒業への取り組みは始まっていると思いますが、卒業式がすばらしい最後の授業となるよう期待をしています。

4・5年生は、児童会選挙を終えて、学校の中心として取り組み始める学期になります。特に5年生は、6年生からバトンを引き継ぎ、最高学年となるための最後の準備期間になります。もちろん、1～3年生にとっても大切な学期です。全校の皆さんのカッコイイ姿もたくさん見せてほしいと思っています。



今回も怪獣を紹介します。今回は出会ってほしい怪獣です。

最初はいつも紹介している【カッコイ】です。2学期までに身に付けた力を3学期にさらに伸ばすことができる、カッコイ学期にしましょう。そして、今年1年が皆さんにとってすばらしい1年になるようにしましょう。さて、誰の力で、すばらしい1年になるのでしょうか。そうです。まず、自分の力でがんばることです。自分の力でがんばる人を私はカッコイと思います。

次も出会ってほしい怪獣【ホンキリン】です。この怪獣は、6年生の篠原颯汰さんが考えてくれました。2学期の校長通信「届け世界の果てまでも」にも書きましたので、読んでくれた人もいると思いますが、「本気」でやるから楽しいのです。そしてその楽しさには、レベルがあります。よりレベルの高い楽しさを求めるのは大変なときもありますが、そこは小笠原小の皆さんならがんばれると思っています。「本気」で取り組んで楽しい3学期にしましょう。また、授業や家での学習を「本気」でやるから、成果が出て、学んだことが身に付きます。締めくくりの3学期です。今の学年で身に付けるべき力をしっかり身に付けて、6年生は卒業・進学、1～5年生は次の学年へ進級してください。

繰り返しますが、短い3学期です。1日を大切に、カッコイ3学期にしましょう。

ジョーカーのほほえみ

「もう1回、もう1回だけ」

そう言いながら娘（5歳）の顔はみるみる半ベそになった。

トランプ。3回連続してジョーカーは彼女の手元に残ってしまったのだ。



最近、パパ抜きを覚えた娘は、ひたすら挑んでくる。

そしてほぼ全部（妻が手加減してやる以外は）負ける。

そりゃそうだ。

娘にジョーカーを引かせるには左から2番目（いつもここから引く）にしておけばいいし、

逆にジョーカーが向こうにあるとき、彼女はチラチラとそればかり見ているのだから。

「もうそろそろ寝る時間だから、お・わ・り」

妻の宣言に

「明日お休みだからもうちょっとだけいいでしょ」

と娘は抵抗する。

そういえば、私も子どものころ、休日前の夜だけは少し夜更かしを許されて、

両親や姉とトランプをしてたっけ。

コタツにミカンと、そう、なぜかトランプって冬のイメージがあるんだよね…。

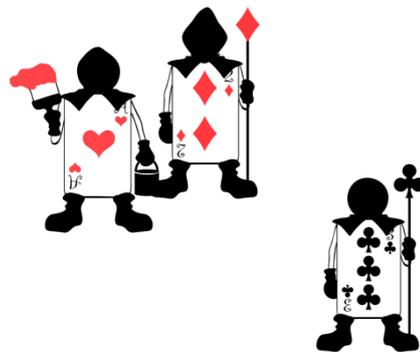
「じゃ、もう1回だけしようか」

「え、ホント！」

急に笑顔になる娘。

「もう、パパは甘いんだから」

妻もクスリと笑って隣に座った。



「ホントに最後の1回だよ」

私はカードを切り出した。

わざと負けてやろうかな。もちろん、そんなことはしない。

あと1回負けたら、娘は悔しさのあまり泣きじゃくりながら、私の胸に飛び込んでくるだろう。

それもまた、トランプの楽しみの一つなのだ。

花王「暮らし百景」より



25歳・28歳の我が家の息子どもは、私とはもう何年もトランプをしてくれません。

一昨年までの正月は、よく、姪っ子たちとトランプやオセロをしていました。

ほろ酔いのおじちゃんのテクニクが冴え、負けてはやりません。

ところが、今年は、

「受験生だからトランプはやらないよ」と断られ、姪っ子たちは早々に帰っていきました…。